

大学院看護学研究科		授業科目	ケアワーク論 Care Work			担当 教員	蘭 由岐子 (専 任)
開講年次	1年次後期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	演習
選択必修	選 択	時間数	30時間			使用教室	
授業の目的及びねらい		<p>ケアワーク、ケアをすること、そして、それらを知得すること、研究することとは、どういうことだろうか。文献読解とディスカッションによって考察する。</p>					
授業のキーワード		<p>外界・他者、自己、臨床、支援／援助、フィールドワーク、ライフストーリー・インタビュー</p>					
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画						
第1回	本授業の進め方について説明する。履修者各人の関心も考慮して、課題の分担をおこなう。						
第2回	取り上げる文献の概要および基本的視点について解説する。						
第3回	以下の文献のうち、受講者の関心に添うものを選択し、担当者を決め、レジュメを作成し、報告を通して内容・論点を明らかにする。履修者全員でディスカッションをおこなう。また、適宜、ライフストーリー研究、質的研究法の認識論など方法論的視点からの講義をおこなう。						
～							
第14回	熊谷晋一郎『リハビリの夜』医学書院 松澤和正『臨床で書く』医学書院 崎山治男ほか『＜支援＞の社会学』青弓社 A. フランク『傷ついた病いの語り手』ゆみる出版 西川真規子『ケアワーク―支える力をどう育むか』日本経済新聞出版社 ほか						
第15回	総括						
テキスト	上記参照						
参考文献							
成績評価の方法と基準	レジュメの完成度（含・事前資料準備）・報告態度（50%）、ディスカッション参加度（20%）および論点総括レポート30%）で評価する。						
教員から学生へのメッセージ	授業への積極的な参加を求めます。						